

令和2年度（2020年）

一般社団法人

日本身体障害者アーチェリー連盟

事業報告書

（令和2年4月1日から令和3年3月31日）

令和 2 年度（2020 年）事業報告

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日

2020 年は、連盟の強化方針でもある「参加するすべての国際大会において継続的なメダル獲得」を目指す。もちろんここには、東京 2020 パラリンピック大会におけるメダル獲得も含まれる。強化選手の不断の努力に加え、連盟としては強化スタッフを万全の体制で揃え、世界レベルで通用する競技力や意識を持てるよう、目的に沿った強化事業を計画的かつ継続的に実行する。

この目標で取り組んできたが、新型コロナウイルス感染拡大による「緊急事態宣言」が 4 月 7 日に発出され、外出自粛・練習場の閉鎖・大会中止及び今日 2020 オリパラ大会の 1 年延期（3/24 発表）と事業活動に大きな影響を受けることになった。再開に向けての試行錯誤の繰り返しで大きな計画変更を余儀なくされた。

1、組織基盤強化事業

(1) JPC 加盟団体会議（加盟団体選手強化体制整備事業）

2020 年 4 月 18 日（土）緊急事態宣言中のため中止

・JPC 加盟団体会議（東京 2020 パラ大会について） 監督 2 名参加

2021 年 3 月 12 日（金）リモート会議

・JPC アスリート委員会 2021 年 2 月 17 日（水）リモート会議 スタッフ 1 名参加

(2) オリパラ協議会への参加

東京 2020 組織委員会による協議会への参加。競技団体との情報の共有を行った。

2020 年 6 月 16 日（火） 晴海トリトンより WEB 会議（スタッフ 1 名参加）

2020 年 12 月 24 日（木） 晴海トリトンより WEB 会議（スタッフ 2 名参加）

(3) スポンサー獲得事業

経営基盤を強化するためのスポンサー獲得事業に関しては、コロナ禍及び東京 2020 オリパラ開催延期により厳しい結果となった。そんな中、新規のサプライヤ契約としてエスエスケー(株)がゲームウエア提供を受け継ぎことになった。ブランド名は「ヒュンメル」で、東京 2020 パラ終了までの契約とする。

・新規サプライヤ契約 エスエスケー株式会社様 1 件

[ヒュンメル公式サイト \(sksports.com\)](http://sksports.com)

(4) 会員数

2020 年度会員数： 222 名

昨年度から公式 HP・facebook に加え twitter や Instagram による情報発信も開始し、より身近に選手の活躍を感じてもらえるよう努めた。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外出自粛・大会の中止等が影響し、会員登録数は微減となった。

2、強化（競技力向上）事業

2018 年より海外遠征を計画的に事業化し、海外で勝つこと、勝つためのコンディションづくり等を行ってきた。今年度も強化戦略をもとに国際大会で常にメダル争いできる環境作りを目指し、選手強化及びスキルアップを掲げ、強化スタッフの増員も行ったが、国際大会の延期・中止に加え、強化合宿も 8 月迄の自粛（中止）が余儀なくされた。

(1) 強化部・強化スタッフ

① 強化会議の開催（加盟団体選手強化体制整備事業）

・第 1 回 2020 年 9 月 17 日（木） 監督・ヘッドコーチ会議 スタッフ 2 名

・2020 年協働コンサル・JPC 強化ヒアリング

JSC・JISS・JPC（オブ/スポーツ庁）による、2020 年度の強化振返りとマイルストーンの進捗についてのヒアリング（NTC 会議室と WEB） 監督・ヘッドコーチ会議 スタッフ 2 名

② 強化スタッフ（JPC 強化・助成事業）

専任コーチ 2 名を中心に、専任トレーナー 1 名と外部トレーナー 2 名を加えたメンバーで、コンディション作り・強化練習等でのケアを行った。

・専任コーチ：島田隆之・末武寛基

・専任トレーナー：石川舞

・外部トレーナー：加門正行・小笠原早織・長岡光江

(2) 強化指定選手制度（選手強化活動事業）

2020 年度強化指定選手 11 名

・リカーブ（RC）男子：上山友裕・長谷川貴大・寺田博之

・リカーブ（RC）女子：重定知佳

・コンパウンド（CP）男子：宮本リオン・大塚忠胤・藤井正臣

・コンパウンド（CP）女子：永野美穂・平澤奈古

・W1 男子：仲 喜嗣（R3.2.7 逝去）・大山晃司（R3.3 月選考）

・W1 女子：岡崎愛子

※日本身体障害者アーチェリー連盟記録が更新された。

CP 男子 50mラウンド 宮本リオン 692 点（R3.2 月）

(3) 国内強化・選手選考（選手強化活動事業）

① 強化合宿

●第 1 回 2020 年 4 月 13 日～4 月 17 日 味の素ナショナルトレーニングセンター 中止

●第 2 回 2020 年 5 月 15 日～5 月 18 日 味の素ナショナルトレーニングセンター 中止

●第 3 回 2020 年 6 月 21 日～6 月 28 日 味の素ナショナルトレーニングセンター 中止

●第 4 回 2020 年 7 月 11 日～7 月 15 日 浦安市運動公園アーチェリー場 中止

※以上 4 回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となる

●第 1 回 2020 年 9 月 26 日～10 月 5 日 味の素ナショナルトレーニングセンター

感染拡大防止（3 密）により、リカーブとコンパウンドを分けて実施（選手 7 名・スタッフ 6 名）

- 第2回 2020年12月4日～12月13日 味の素ナショナルトレーニングセンター
感染拡大防止（3密）により、リカーブとコンパウンドを分けて実施（選手6名・スタッフ6名）
- 第3回 2021年1月23日～1月29日 味の素ナショナルトレーニングセンター
※緊急事態宣言2回目の発出により中止を決定
- 第4回 2021年2月23日～3月1日 味の素ナショナルトレーニングセンター
リカーブ・コンパウンド合同合宿（選手6名・スタッフ6名）

③ 東京2020代表選手国内選考会（開催国枠）

2021年3月27日（土）・28日（日）夢の島公園アーチェリー場

参加者：選手8名・スタッフ20名・メディア関係約25社50名

・リカーブ男子：長谷川貴大・寺田博之 → 長谷川貴大 内定

・コンパウンド男子：宮本リオン・藤井正臣・大塚忠胤 → 宮本リオン 内定

・コンパウンド女子：永野美穂・平澤奈古 → 永野美穂 内定

・W1男子：大山晃司 → 内定（強化指定選手承認）

※選考方法：50m・70mラウンド3回（216本）の合計点にて各カテゴリ1名を選出する。

経緯：

2020年3/24（火）東京オリンピック・パラリンピック延期（2021年夏迄）がIOCより発表された。同時に国内の感染拡大防止を緊急事態宣言として都道府県より発表され終息の目途が立たない現状を踏まえ、その後の合宿は7月迄白紙（中止）とし、6月の世界最終予選大会（チェコ）も延期になったので、全ての選考会を見直すことになった。

(4) 国際大会派遣（選手強化活動事業）

1 世界予選トーナメント大会（チェコ）・・・東京2020大会の世界最終予選会延期となる。

変更後：2021年7月4日～7月11日

2 東京2020パラリンピック（東京都／夢の島）2021年8月24日～7月5日に延期となる。

3 7thワールドランキングトーナメントドバイ大会 2021年2月21日～2月28日

※緊急事態宣言中のため見送り

(5) 2020年度メディカルチェック（加盟団体選手強化体制整備事業）

「強化指定選手は毎年3月から4月にかけて「メディカルチェック」が義務付けられている。

（選手11名、全員終了）

3、発掘・育成・普及事業

選手の発掘・育成そして普及事業として、国内大会や協力大会における情報発信のみならず、普及事業や様々な体験イベント等の開催・積極的な参加を行い、選手のメディア対応に関するサポートを計画したが、コロナ禍における大会の中止等（自粛）により殆ど実施できなかった。

■文部科学大臣受賞：

令和2年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰しました。

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_01066.html

4、倫理・コンプライアンス事業

強化事業のさらなる充実とガバナンス強化のために、日常における活動とともに以下の活動を行った。

(1) 理事会・評議委員会の開催

社員総会： 7月27日（月）電磁的（資料による会議の提案）定款に記載あり。

前期理事会：11月7日（土）リモート（zoom）で実施

後期理事会：3月29日（月）リモート（zoom）で実施

※12/10より毎週木曜日20:00からリモート（zoom）での会議・ミーティングを実施している。

(2) 啓蒙活動

現地に人を集めて、直接指導する形は中止になったため、リモート（ネット）を使ってのインテグリティ研修・栄養・コンディショニングは実施できた。

- 1/15 弁護士によるWEB（ZOOM）を使って、役員・スタッフに対するガバナンス研修を行う。
- 主に強化合宿等時に代表選手に対し、メディア対応やSNS使用に際しての研修・インテグリティ研修・ケアやコンディショニング・栄養学の講習など様々な形で啓蒙活動を行う予定だったが、合宿は自主参加（所属先等の確認のうえ参加）のため、選手が揃わなかったためリモートで開催。
- クラス分けキャラバン開催に加えて、審判・指導者・選手等、国内クラス分けの理解者を国内に増やすためのセミナー開催予定は、全て中止となってしまった。

(3) ガバナンスコード順守のための体制づくり

ガバナンスコード適合性審査対象が2021年度になるので、ガバナンス担当者迎えて、現在の組織状態の整備と改善を強固に進めている。法人としての組織づくりが急務のため、規程の整備・整合性が取れる内容の整備と人材増員を目標に推し進めている。

(4) 倫理委員会

コンプライアンス・倫理委員会の設置を急ぎ、当連盟の役職員を対象に継続的なモニタリングを行う。

5、国際クラス分け、アンチ・ドーピング事業（加盟団体選手強化体制整備事業）

当連盟では「国内選手権大会に出場する選手全員が国際・国内クラス分けカードを持つこと・クラス分けに関する情報発信の場にあること」を目標に、2017年度より全国大会に合わせ「全国行脚」で国内クラス分けキャラバンを実施している。2020年度は3回の開催を予定していたが、全てコロナ禍により中止を余儀なくされた。

また、審判・指導者・選手等、国内クラス分けの理解者を増やすためにクラス分けセミナーも同様となる。一方、WA競技規則改定に伴い、公認大会時「クラス分け」の提示が求められることになり、上部団体の全日本アーチェリー連盟と連携し、クラス分け未受検者の対応を「暫定」処置として、大会参加できる方法を調整しながらの体応となった。

(1) 国際クラス分け事業

- ① 国際クラス分けワークショップへの出席 → 今年度なし
- ② クラス分けキャラバン

・JPAF 杯トーナメント大会（埼玉県障害者交流センター）10/17～10/18（土・日） 中止

- ・フェニックス大阪大会（大阪府堺市）11/14～11/15（土・日） 中止
- ・四国地区クラス分け（愛媛県サン・アビリティ今治）2/14～16日 延期

6、国内大会の開催

本年度は2つの主催大会・6つの後援大会・その他、協力大会を予定したが、全て中止となった。

（1） 主催：2大会

- 6thJPAF 杯パラアーチェリートーナメント大会（10/18 埼玉県）中止
- 49th 文部科学大臣杯争奪全国身体障害者アーチェリー選手権大会フェニックス大阪大会（11/14 大阪府）中止

（2） 後援大会・協力大会

以下の事業につき、スタッフ派遣や運営支援などを行った。

- 44th のじぎく杯アーチェリー競技大会（5/17 兵庫県）中止
- 45th 九州地区身体障害者アーチェリー競技大会（5/17 鹿児島）中止
- 41th 関東甲信越身体障害者アーチェリー大会（6/7 長野県）中止
- 40th 近畿・11th 東海障害者アーチェリー大会（4/19 大阪府）中止
- 42th 中国・四国身体障害者アーチェリー競技大会（9/27 島根県）中止
- 43th 火の国杯争奪九州身体障害者アーチェリー大会（9/13 熊本県）中止

7、全日本アーチェリー連盟等、関係諸機関との協力体制の強化

以前より様々な面において協力頂いている全日本アーチェリー連盟には、相互理解の観点から、以前より拡大理事会に参加している。今後も様々な面においてさらなる連携強化に努める。

- 2020年5月30日（土） 全ア連拡大理事会への出席（WEB）
- 2020年6月14日（日） 全ア連社員総会・拡大理事会への出席
- 2020年7月4日（土） 全ア連臨時拡大理事会への出席
- 2021年3月21日（土） 全ア連拡大理事会への出席

8、全日本アーチェリー連盟主催の全国大会における当連盟所属選手の活躍

第62回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会（愛知県岡崎市）

2020年10月31（土）・11/1（日）当連盟より7人の選手が出場

重定知佳（福岡）・平澤奈古（埼玉）・永野美穂（愛媛）・篠原彩（大分）・
服部和正（東京）・安島裕（東京）・大江佑弥（岡山）

決勝トーナメント進出：平澤奈古（コンパウンド）・大江佑弥（コンパウンド）

9、広報活動

東京2020パラリンピック開催の機運を生かし、選手がより活動しやすいよう競技の魅力を幅広く伝え、さらには選手発掘・スポンサー獲得等の事業基盤整備推進に繋げていくための広報活動を目

標とした。これまでのホームページ・Facebook・ポスター・小冊子に加え、昨年度「日本財団パラリンピックサポートセンター助成事業」により作成したリーフレット・連盟ステッカー・バックボードを活用する。また、facebook のより積極的な活用・ツイッターと Instagram における情報発信開始といった SNS を利用した活動も行った。

(なお強化選手に対しては円滑にメディア対応・SNS 発信ができるように研修も行った。)

同時に、選手発掘に繋がるような各種体験会にも積極的に参加した。

(1) ホームページ・公式 Facebook の活用

HP では試合要項・試合結果やメディア掲載の確実な発信。

Facebook では合宿・国際試合における臨場感あふれる選手の様子や Live 配信 URL の紹介も積極的に行った。

公式 Facebook

<https://www.facebook.com/paraarcheryjapan>

(2) 連盟ツイッター・インスタグラムアカウント

今年度初めての試みとして、より多くの方々に興味を持っていただくために開設。

内容は公式 Facebook に準じたもの。

・twitter

@para_archeryjpn

https://twitter.com/para_archeryjpn

・Instagram

para_archery_japan

https://www.instagram.com/para_archery_japan/

(3) 普及活動・体験イベント

●リモートトークイベント

2021年3月14日 上山選手・重定選手が「ウエシゲ劇場」として、ファンとのトークイベントを初めてWEB（ZOOM）で開催した。

(4) 当連盟機関紙「なかま」の発行

会員向け機関誌を2回発行する。(12月と3月の年2回)

会員及び関係機関に送付。今回(3月)は近年、世界で活躍した選手等を掲載するなど、内容を豊富に纏めることができた。